	項目	機能
1	ディスプレイ	熱画像および可視画像、メニュー、機能を表示
2	インターフェイス端子ボックス	Includes micro マイクロ USB インターフェイス interface for power supply and connection to a computer
3	- ⏻ ボタン - 「Esc」ボタン	- 電源オン/オフ - キャンセル実行
4	- 「OK」ボタン - ジョイスティック	- メニューを開く、選択/設定の確定 - メニューのナビゲーション、機能やカラーパレットの選択
5	ファンクション・ボタン	割り当てられた機能を呼び出します。選択中の機能はディスプレイの右下に表示されます。
6	赤外レンズ; 保護キャップ	熱画像を撮影。レンズを保護。
7	デジタルカメラ (testo 870-2 のみ)	可視画像を撮影
8	トリガー	表示された画像を保存
9	バッテリー格納部	バッテリーを格納

電源のオン/オフ

1 - レンズから保護キャップを取り外します(6)。

2 - ⏻ ボタン(3)を押して電源を入れます。
- ⏻ ボタン(3)を長押しして電源を切ります。

測定精度を保つため、約 60 秒毎にサーモグラフィの内部調整が自動で行われます。このときカチッというクリック音が聞こえ、一時的に熱画像がフリーズします。

操作メニューのナビゲーション

1 - 「OK」ボタンを押し(4)、メニューを開きます。

2 - ジョイスティック (4) を上下に動かし、機能を選択します（選択した機能はオレンジ色で強調表示されます）。

3 - 「OK」ボタン(4)を押して機能を確定します。

3.1 - 三角マーク(▶)に従ってジョイスティック (4) を右に動かすと、サブメニューが開きます。

画像の保存

1 - トリガー (8)を引きます。

▶ 熱画像が自動的に保存されます。

testo 870-2 のみ: 選択している画像タイプにかかわらず、熱画像の保存時には常に可視画像も添付画像として保存されます。

高解像が必要な場合は、撮影前にあらかじめ「設定」メニューで「SuperResolution」 (オプション機能)を選択しておきます。
@ 詳しくは取扱説明書をご参照ください。

画像の表示と削除

1 - 「画像ギャラリー」 を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。

2 - ジョイスティック (4)を上下左右に動かして画像を選択し、「OK」ボタン(4)を押すと、画像が表示されます。

3 - (5) を押すと画像が削除されます。

放射率の設定

testo 870-2: 「画像タイプ」で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

放射率とは、物体から放射される赤外線の程度を示すものです。正確な測定値を得るためには、測定対象物の素材に適した放射率を設定することが必要です。

1 - 「放射率」機能を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。

2 - ジョイスティック (4)を上下に動かして 測定対象物の素材を選び、OK ボタン(4)を押します。

反射温度補正（RTC：Reflected Temperature Compensation) とは、他の物体からの熱放射に対する補正です。多くの場合、周囲温度を反射温度として入力します。高温または低温の物体が測定対象物の近くにある場合は、反射温度を入力する必要があります。
@ 詳しくは取扱説明書およびポケットガイドをご参照ください。

計測の設定

testo 870-2: 「画像タイプ」で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

1 - 「計測」サブメニューを開きます。方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。

▶ 計測サブメニューの各機能:
- 1 点温度表示:画像中央に白色でクロスヘア（十字マーク）と温度測定値を表示します。画像の保存後は、ジョイスティックを使ってクロスヘアの位置を動かし、任意のポイントの測定値を読み取ることができます。
- コールドスポット/ホットスポット: ディスプレイ内の最低温度と最高温度の位置を温度と共に表示します。最低温度は青色、最高温度は赤色のクロスヘアで表示します。
- 計測範囲: 測定値が含まれる温度範囲を表示します（参考情報として）。

2 - ジョイスティック (4)を上下に動かして必要な機能を選び、「OK」 ボタン(4)を押します。

カラーパレットの変更

testo 870-2:「画像タイプ」で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

1 - ジョイスティック (4) を上下に動かして、必要なカラーパレットを選択します。

画像タイプの変更（熱画像/可視画像）（testo 870-2 のみ）

1 - 「画像タイプ」を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。

▸ 画像タイプが熱画像から可視画像へ、あるいは可視画像から熱画像に自動的に変更されます。

スケールの設定

testo 870-2:「画像タイプ」で熱画像を選択時のみ有効な機能です。

> 自動スケーリングでは、測定温度に連動してスケールが調整され、測定値の変化にともないカラーが割り当てられます。マニュアルスケーリングでは、スケール上下限値を設定でき、測定値に割り当てられるカラーも固定になります（画像を比較する際に重要です）。スケーリングは熱画像のディスプレイ上の表示に影響しますが、測定値には影響しません。

1 - 「スケール」を選択します。選択方法は操作メニューのナビゲーションをご参照ください。

2 ジョイスティック (4) を左右に動かして 自動スケーリング を選び、「OK」ボタン (4) で確定します。

▸ 自動スケーリングが有効になると、ディスプレイ右下に Ⓐ マークが表示されます。

2.1 - ジョイスティック (4) を左右に動かし、マーク（下限値）を選びます。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、「OK」ボタン（4）を押して確定します。

2.2 - ジョイスティック (4) を左右に動かし、マーク（下限値）とマーク（上限値）を選びます。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、「OK」ボタン（4）を押して確定します。

2.3 - ジョイスティック (4) を左右に動かし、マーク（上限値）を選びます。
- ジョイスティック (4) を上下に動かして値を設定し、「OK」ボタン（4）を押して確定します。

▸ マニュアルスケーリングが有効になります。ディスプレイの右下に Ⓜ マークが表示されます。

ファンクション・ボタンの使用法

> ファンクション・ボタン(5) は、ボタンを押すことにより機能を呼び出すことができる補足のナビゲーションです。

1 - ジョイスティック(4)を右に動かして キー割り当て機能 を選びます。

2 - ジョイスティック(4)を上下に動かして 必要な機能を選択し、「OK」ボタン (4)を押します。

▸ 選択した機能がディスプレイ右下に表示されます。

3 - (5) を押して機能を呼び出します。

0970 8701 ja 01 V01.00 ja

testo 870
簡易マニュアル

www.testo.com

www.testo.com/870manuals

testo 870 簡易マニュアル
testo 870 取扱説明書
サーモグラフィ ポケット ガイド
testo 870 動画

> 簡易マニュアルでは基本操作手順をご説明しています。製品の安全な取扱い方法や詳細情報については取扱説明書をご参照ください。